

沖永良部島でクロマダラソテツシジミの越冬を確認

中峯 浩司*

Winter hibernation habits of *Chilades Pandara* on the island of Okierabu-jima

Koji NAKAMINE

はじめに

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* は、鹿児島県内では初めて、2007年7月に薩摩半島南部で採集され、その年県内外で大発生した。さらに2008年及び2009年も各地で発生が見られた。この間、九州南部で越冬が可能かどうかを調べた複数の調査報告がある(岩崎, 2009)(中峯芳, 2008)。しかし、いずれもかろうじて越冬はできたものの、その後世代を繋げた可能性はゼロに近いと推論されている。離島はどうかというと、2008年3月に奄美大島を調べた調査報告はあるが越冬は未確認である(中峯浩, 2008)。さらに南ではどうなのか。筆者は2009年3月5日~7日、沖永良部島で調査を行い、本種の幼虫や蛹を多数確認したので、他に採集・目撃した昆虫類と併せて報告する。

1. 調査日程

3月5日 8:15発 鹿児島空港
9:30着 沖永良部空港(悪天候のため遅れる) レンタカー借用
国頭~和泊~知名
3月6日 知名~和泊~国頭~越山~大山~田皆
3月7日 知名~大山~和泊~国頭
16:50発 沖永良部空港
17:50着 鹿児島空港

2. 調査結果

クロマダラソテツシジミの調査を最優先したため、他の昆虫類をじっくり調べる時間が無かった。このため、他の昆虫類については、調査した場所ですぐに出会った時の状況だけを記すことにする。

なお、はクロマダラソテツシジミが見つかった場所、はソテツの新芽はあるものの幼虫などは見つからなかった場所、はソテツがないか、あって

も新芽が無かった場所を示している。

3月5日(午前中は風雨ともに強かったが、後に風も弱まり曇天、時に晴れ間が望んだ)

国頭岬 灯台周辺: シロノセンダングサがたくさん花を咲かせているものの悪天候のためチョウ類の飛翔は無い。シロオビアゲハ1 が葉上に羽を広げて静止していた。サルカケミカンの新芽は多いが卵は見つからなかった。灯台下の崖際にシマフジバカマが数株あって花が咲き始めている。アサギマダラの飛来は雨天ということもあり飛来していなかった。なお、ここのフジバカマ生育地は2000年3月末に筆者が確認したときよりも株数が激減している。

フーチャ付近 最も海岸近くを走る道路沿いを3カ所調べた。ソテツの新芽は伸び始めのものから50cmほどに伸びているものが数株あり、十分産卵可能であるが卵や幼虫は見つからなかった。

国頭 集落近くの道路沿いに前年のものと思われる古い食痕の付いたソテツがあった。

西原 集落近くの道路沿いにある畑周辺のソテツを調べたが、新芽が1株あったものの食痕などは無かった。

笠石公園 ソテツ新芽を数株調べたが卵や幼虫は見つからなかった。剪定していないソテツはほとんど新芽を出していない。新芽伸び始めを食害された前年の食痕が確認できた。コメツブウマゴヤシが多くヒメシルビアシジミが多数見られた。他にヤマトシジミも普通にいる。

和泊 警察署となり: 道路沿いの5株が新芽を付けていたが食痕は見られなかった。

沖永良部酒造前(図2, 9, 10) 新芽~新葉がたくさんあり、成長した若葉のつけ根付近からクロマダラソテツシジミの蛹14頭と前蛹5頭を採取した。別の株からも蛹9頭を採取。葉には卵殻がいくつか確認できた。2株とも葉を食べている幼虫は全く見

* 鹿児島県立博物館: 〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

られず、すべて蛹化のために葉を降りて葉のつけ根の綿毛の中に移動した後と考えられた。

知名 体育館付近：畑周辺にモンシロチョウが多い。

与和浜付近 喫茶店リープの駐車場：飛翔中のキオビエダシヤク 1 頭目撃。アオスジアゲハ 2 頭目撃。与和浜海岸への下り口付近：キオビエダシヤク 2 頭目撃。新鮮なアサギマダラ 1 にマーキング (KN OKE 3/5 01)。海岸：ウラナミシジミ (普通) がハマナタマメに産卵。オジロシジミ (多い)。お墓付近：ヤマトシジミ (少ない)、ヒメシルビアシジミ (少ない)、モンキアゲハ (少ない)、シロオビアゲハ (少ない)、モンシロチョウ (普通)、ツマムラサキマダラ 1 頭採集・1 頭目撃、ウスバキトンボ飛翔中を 1 頭目撃。

3月6日 小雨

知名 フローラルホテル駐車場 (図3, 5, 6, 7) : ソテツ 2 株に幼虫～蛹 (中齢 1, 終齢 3, 葉のつけ根に生える綿毛に潜り込んだ幼虫 6, 蛹 1)。他のソテツ 2 株にも幼虫や食痕あり (中齢～終齢を葉上に数匹確認。おそらく数十頭いる)。ピロウが 6 本あり、クロボシセセリの終齢幼虫の巣跡 2 つを見つけた。シンノウヤシも 3 本あるが樹高が高いため巣があるか分からない。

国頭小学校 新芽を出したソテツが 2 株あるがいない。ガジュマルにオキナワイチモンジハムシの幼虫が大量発生。

和 食痕のあるソテツ 2 株があり、幼虫はすべて葉を降りていた。幼虫 1 頭、前蛹 1 頭、蛹 2 頭採取。

ワンジヨ 成長した新葉があるが卵や食痕無し。

越山 歴史民俗資料館：新芽 (伸び始めから 30cm までの長さ) 多いが卵や食痕無し。登り口：カナリーヤシ 6 本からクロボシセセリ幼虫 2 頭採取。山頂手前：シンノウヤシ 5 本に古い卵殻と、中齢幼虫の古巣あり。上方の葉に食痕も見える。キオビエダシヤク 1 頭目撃。

沖泊海浜公園 リュウキュウアサギマダラ (普通)、シロオビアゲハ (普通)、キオビエダシヤク 1 頭目撃。シンノウヤシの植栽多いがクロボシセセリの食痕無し。ソテツ新芽 5 株に卵や幼虫無し。

田皆岬 ソテツ新芽 2 株と新葉を付けた 1 株があるが卵や幼虫無し。古い食痕のあるソテツが多い。リュウキュウアサギマダラ 1 頭目撃。

徳時 海岸近くの道路沿いに新葉 2 株あるが、食痕などはなかった。

昇竜洞 (増水のため閉鎖中) 入口付近：キオビエ

ダシヤク 1 頭目撃。シンノウヤシ 1 本にクロボシセセリの巣無し。出口付近：シンノウヤシ複数あるがクロボシセセリはいない。

大山 山頂付近：新芽を出したソテツが 3 株あるがいない。公園近く：シンノウヤシ 10 本以上あり、蛹 (落下せず葉上にある) 1 頭採取。他に古巣数個確認。植物園の中の池：コマツモムシ 2 種を採集 (未同定)、ゲンゴロウ類は採れず。ウシガエルのオタマジャクシがいた。

3月7日

昇竜洞 モンキアゲハ 1 頭目撃

和泊港 入口付近：伸びた新芽 2 株に蛹 3 頭と 1 頭。他 4 株の新芽には卵など無し。奄美太鼓前：新葉 5～6 株があり、うち 1 株から蛹 2 頭 (羽化前で黒く色づいている)。卵や幼虫は見つからなかった。

国頭からフーチャへ横切る畑の中の道路沿い (図4, 8) 成長した新葉があり、幼虫 23 頭と蛹 12 頭を採取。幼虫はほとんどが終齢であるが、中齢も少し混じっている。

和泊～和 新葉をつけたソテツが 1 株あるが、いない。

クロマダラソテツシジミの幼虫や前蛹、蛹が見つかった場所を図 1 にまとめた。

3. 飼育結果

採集したクロマダラソテツシジミの幼虫や蛹の一部は持ち帰り、鹿児島市の室内で育てた。はなはだ不完全な飼育記録であるが、以下にその結果を記し、表 1 にまとめた。

沖永良部酒造：3月5日、蛹 9 頭採取

(3月9日, 1 羽化)(3月11日, 1 2 羽化)(3月15日, 1 羽化)(3月16日, 1 羽化)(3月21日, 1 羽化)、他 2 頭は羽化せず (乾燥が原因?)

沖永良部酒造：3月5日、前蛹 5 頭採取

(3月6日, 朝 8 時すべて蛹化を確認) (3月7日, 1 頭死亡, 採取時の傷が原因) (3月23日, 1 3 羽化)

他に蛹 14 頭を採取しているが経過不明。

フローラルホテル：3月5日、葉のつけ根にいた幼虫 6 頭

(3月7日, 1 頭蛹化) (3月10日, 残り 5 頭の蛹化を確認) (3月25日, 1 羽化)(他, 羽化日不明)

フローラルホテル：3月6日、ソテツの葉に止まる幼虫 5 頭採取

4. 考察

沖永良部島では、3月上旬にはクロマダラソテツシジミが産卵可能なソテツの新芽は、伸び始めから成葉に近いものまで多数存在することが分かった。しかし、今回の調査では卵や若齢幼虫は見つからず、しかも終齢幼虫や蛹は、葉が展開して成葉に近づいた状態のソテツから見つかり、すでに蛹になっているものも多かった。中には羽化直前まで経過した蛹もあった。このことから推定すると、幼虫や蛹が見つかったソテツが新芽を伸ばし始めた頃までは産卵可能な親が生き残っていたものの、その後は死に絶え、幼虫や蛹で冬を越したと考えられる。

おわりに

冬を越した幼虫や蛹は、室内飼育ではあるが、鹿児島市でもほとんど正常に羽化した。沖永良部島で

も、今回取り残したのや未発見のものが3月中に相当な数羽化したはずである。

調査を実施した翌月の4月下旬、伝え聞いた話ではあるが、和泊町では本種が大発生し、役場は対応に苦慮しているとのことであった。これは、越冬したクロマダラソテツシジミの次世代（第一世代）が育ち、幼虫によるソテツ新芽の食害が目立ってきたためと思われる。

引用文献

岩崎郁雄（2009）宮崎県におけるクロマダラソテツシジミの分布拡大状況及び越冬等に関する知見について2007～2008年．やどりが220号：35-46.

中峯浩司（2008）奄美大島におけるクロマダラソテツシジミの発生地と越冬の可能性について．SATSUMA138：56-58.

中峯芳郎（2008）鹿児島市吉野町で越冬羽化したクロマダラソテツシジミ．SATSUMA139：88-92.



図2. 蛹が見つかったソテツ
(沖永良部酒造前)



図3. 幼虫が見つかったソテツ(左)
(知名フローラルホテル)



図4. 幼虫が見つかったソテツ
(国頭とフーチャの間)



図5. 幼虫が見つかったソテツ
(知名フローラルホテル)



図6. 緑色の幼虫
(知名フローラルホテル)



図7. 赤みの強い幼虫
(知名フローラルホテル)

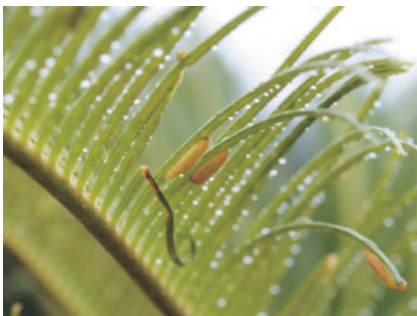


図8. 黄色みの強い幼虫
(国頭集落とフーチャの間)



図9. 綿毛の中の蛹
(沖永良部酒造前)



図10. 蛹(左)と前蛹(右)
(沖永良部酒造前)